

《第2回 ICDアワード受賞者》

第2回 ICDアワードを受賞いたしました



日本大学歯学部

高田 紋花

この度は、第2回ICDアワードを賜り、誠に光栄に存じます。私は3月に日本大学歯学部を卒業し、現在は東京医科歯科大学病院にて研修歯科医師をしております。

ICDアワードを頂戴するに至った活動は、日本大学歯学部生化学講座准教授の津田啓方先生の御指導のもと、「Additive alveolar bone mineralization in the dry socket may be induced by oral bacterial metabolites (口腔内細菌代謝産物がドライソケットにおける歯槽骨石灰化亢進に関与する可能性)」というテーマで研究に励み、その成果をStudent Clinician Research Program日本代表選抜大会で発表し、第3位を受賞いたしましたことです。

この研究は、ドライソケット部位のX線写真で歯槽硬線が強く石灰化しているのを文献で発見し、歯周炎では骨吸収が起こるが、同じく口腔内細菌の感染で起こるドライソケットでは石灰化亢進が起こるのはなぜだろう？ という素朴な疑問から始まりました。口腔内細菌の代謝産物である短鎖脂肪酸 (SCFAs) の骨への影響を調べる実験を行った結果、一部のSCFAsは骨芽細胞による石灰化を促進し、破骨細胞の形成を抑制しました。この結果から、抜歯窩治癒不全で露出し

た骨表層では、口腔内細菌が産生するSCFAsにより骨密度が上昇することで、免疫細胞の到達が悪くなり、ますます抜歯窩の治癒が遅くなることが示唆されたのです。

初めての研究と英語発表でしたが、津田啓方先生をはじめ多くの先生方に助けていただきやり遂げることができました。応援して下さった先生方に深く感謝申し上げます。そしてさらにICDアワードを賜りましたことは、何にも変えられない貴重な経験であり、この上ない喜びでございます。今後は世界で活躍する歯科医師を目指し、臨床も研究も研鑽を積んでまいります。



卒業式にて飯沼病院長より表彰状をいただく様子